

宮崎県学校教育計画懇話会「最終まとめ」について

1 懇話会の協議経過等

(1) 協議テーマ

- ・新しい時代の県立高等学校の在り方について
- ・今後の義務教育段階以降の特別支援教育の在り方について

(2) 協議経過

令和元年	5月22日	第1回宮崎県学校教育計画懇話会
	7月8日	宮崎県学校教育計画懇話会北部地区懇話会
	7月12日	宮崎県学校教育計画懇話会中部地区懇話会
	8月30日	第2回宮崎県学校教育計画懇話会
	11月20日	宮崎県学校教育計画懇話会南部地区懇話会
令和2年	2月10日	第3回宮崎県学校教育計画懇話会
	3月18日	宮崎県学校教育計画懇話会「中間まとめ」公表
	6月23日	第4回宮崎県学校教育計画懇話会
	6月24日	地区別懇話会合同特別支援教育部会
	7月1日	宮崎県学校教育計画懇話会北部地区懇話会
	7月10日	宮崎県学校教育計画懇話会中部地区懇話会
	7月13日	宮崎県学校教育計画懇話会南部地区懇話会
	9月18日	第5回宮崎県学校教育計画懇話会
	10月30日	宮崎県学校教育計画懇話会「最終まとめ」公表

2 次期県立高等学校教育整備方針の策定

(1) 背景

- IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)等の技術革新による先端技術が、様々な課題を解決する社会「Society5.0」の到来
- 「持続可能な開発のための目標(SDGs)」社会の創造に向けた豊かな資質・能力の育成
- 本格的な少子高齢・人口減少時代における次世代の担い手の確保


(2) 基本的な考え

社会情勢が急速に変化する中、国の教育振興基本計画、県の総合計画や教育振興基本計画等を踏まえ、現行の県立高等学校教育整備計画後期実施計画の終期2年を重ねる形で、令和3年度～10年度の8年間を対象とした新しい整備方針を策定する。

宮崎県学校教育計画懇話会「最終まとめ」【概要】

I 新しい時代に向けた本県教育の方向性

- ・大きな社会の変革や「Society5.0 時代」の到来
- ・急変する社会を生き抜いていくことができる力の育成

 ICTの積極的活用

- 地理的制約を超えた多様かつ質の高い学びの機会の実現
- 持続可能な社会の形成に参画する生徒の育成
- 将来の地域社会を牽引する担い手の育成
- 能力や適性等のニーズに応じた、多様な学びが実現できる環境の整備
- 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実

→ 学びにおける縦の連携（小・中→高校→高等教育）の充実

II これからの高等学校教育の在り方

(1) 本県のこれからを見据えた教育推進の方向性

- 本県のカリキュラム研究開発・実践推進校等は、本県教育の質の向上を牽引
- 地域の人材育成に向け、スクール・ミッションを再定義
- 地元市町村からの支援等による高校教育の充実を期待

(2) これからの県立高等学校整備の考え方

- 高等学校の質の確保から「望ましい学校規模」の考え方は必要
- 地域の人材育成の核としての高等学校の位置づけから、学校の統廃合は慎重に検討することが必要
- 学科は、人口動態や産業構造、文化的・地理的要因等を考慮して、特色・魅力ある様々な学びをバランス良く配置

(3) 多様な学習ニーズに応じた取組の推進方策

- インクルーシブ教育の理念等も踏まえた定時制・通信制の高等学校教育の推進
- 関係機関との連携を深め、ICTの効果的な利活用等で個別最適な学習を充実

III 今後の義務教育段階以降の特別支援教育の在り方

(1) 知的障がい特別支援学校高等部における職業教育の充実について

- 地域を支える担い手として、地域連携による人材育成、職業教育を充実
- 職業コース・職業学科や高等特別支援学校等の設置などを研究することが必要

(2) 高等学校における特別支援教育の充実について

- 校内支援体制の拡充、研修の機会の確保を期待
- 将来に向けた新たな学びの場の整備の在り方を検討することが必要

• •
• •
•
•
•

• • • • • • •

•
%\$ ' \$ •

